

1 検討経過等の概要

■ 第1回委員会（平成23年11月17日開催）

今後の検討の進め方について審議が行われ、その結果、県内沿岸地域を4つのモデル地区※に区分し、国土交通省が策定した「河川・海岸構造物の復旧における景観配慮の手引き」の内容を基本としつつ、各地域の特性やまちづくり計画等を踏まえ検討を進めていくこととなった。

■ 第2回委員会（平成23年12月19日開催）

各モデル地区の景観・環境への具体的な配慮事項について審議が行われ、委員から「砂浜の復元」、「防潮堤の位置」、「高さのある防潮堤による圧迫感の低減」、「河川堤防、水門の場合の工事影響範囲の把握と環境への配慮」、「施設のコミュニティの場としての活用」等について意見があった。次回は、今回の委員会の結果を踏まえ、意見に対する具体的な対策やパース等を示すこととなった。

■ 第3回委員会（平成24年1月27日開催）

環境・景観配慮に向けた基本的な考え方について、また各モデル地区の環境・景観に係る配慮事項等について審議が行われ、各委員から、景観に関しては「築山の機能と配置」「水門の規模等によるデザインの考え方」「多自然川づくりのデザイン」等について、また環境に関しては「海岸林の樹種の選定」「環境調査の通年実施の必要性」等について意見があった。

※4つの検討対象モデル地区

検討対象	海岸、河川名等
① 砂浜海岸	高田海岸、気仙川（陸前高田市）
② 港湾海岸	大船渡港、盛川（大船渡市）
③ 複数河川河口部	大槌川、小槌川（大槌町）
④ 観光地周辺	鉾ヶ崎、閉伊川（宮古市）

2 論点と対応の方向性等 （下線部が第4回委員会資料への新たな反映内容になります。）

これまでいただいた意見等から整理した論点と対応の方向性等は次のとおり

(1) 景観

論点	対応の方向性等
① 直立堤の壁面デザインについて	・景観に配慮した縦リブ、支え壁等の間隔などについてより具体的なデザインや配慮事項を提示
② 防潮堤の圧迫感の軽減について	・築山、覆土、植栽等を行うなど長大で連続的な構造物の圧迫感の軽減に配慮したより具体的なデザインと配慮事項を提示 ・築山の機能の一つとして提示
③ 河川堤防の水際部のデザインについて	・多自然川づくりに沿ったデザインを提示（画一的なデザインを修正）
④ 堤防法線（地形との収まり）について	・モデル地区対象市町のまちづくり計画を踏まえたデザインを提示（まちづくり計画の〈山付け法線〉の反映）
⑤ 水門等のデザインについて	・大型水門、中小型水門といった規模の観点のほか、通航がある場合の、より具体的なデザインと配慮事項を提示 ・ゲートの色彩に係る配慮事項を提示
⑥ 階段、陸閘等のデザインについて	・階段、陸閘等について、壁面と一体的となったより具体的なデザインと配慮事項を提示

(2) 環境

論点	対応の方向性等
① 砂浜、松原の再生と堤防法線について	・海岸林に関する岩手県版の樹種等の考え方を提示（・砂浜に関しては、来年度以降、関係機関と連携し必要な調査を実施予定）
② 工事影響範囲と環境への配慮について	・仮設工事も含めた河川堤防と水門の各ケースにおける影響範囲と環境配慮について基本的な考え方を提示 ・堤防の位置や工事による地形改変に関し、自然環境の再生を促すような配慮を検討する旨を提示
③ ミティゲーションの考え方について	・東日本大震災津波に係る復旧等事業におけるミティゲーションの考え方を提示
④ 環境ポテンシャルの変化の把握について	・被災前後における地盤沈下や植生の変化の状況について基礎情報として追加
⑤ 環境保全対策実施の結果について	・実施内容に関する情報のほか、その結果を提示（実施方法の妥当性を確認）

(3) 構造

論点	対応の方向性等
① 覆土と堤防の維持管理について	・公園整備や景観配慮による覆土により不可視部分となる堤防等の構造物の維持管理方法を今後の検討課題として整理

(4) 利用

論点	対応の方向性等
① コミュニティ機能の付加について	・まちづくり計画や公園整備等と併せてコミュニティの場を創出した場合のより具体的なデザインと配慮事項を提示
② 堤防内外へのアクセスについて	・築山の機能の一つとして提示（・(1)景観⑥に同じ）

(5) その他

論点	対応の方向性等
① 自然エネルギーの活用について	・技術革新等の動向を注視しながら、自然再生エネルギーの取組と併せて長期的な検討課題として整理
② まちづくりとの連携について	・今後も引き続き関係市町村と情報共有していく

★環境景観配慮に向けた基本的な考え方（検討に際して念頭におくべきこと）

論点	対応の方向性等
① 歴史・文化等の地域特性を踏まえた岩手三陸独自のデザインについて	・岩手県沿岸の状況とモデル対象市町のまちづくり計画を踏まえ環境、景観特性を整理 ・キーワードを抽出、基本的事項として提示し、委員会審議に反映

本日、委員の皆様にご検討していただきたいこと

- ✓ これまで議論してきた内容が、基本的な考え方等に適切に反映されているかどうか。
- ✓ 欠けている視点、新たな論点がないか。
- ✓ 来年度以降、検討・調査等が必要な内容は何か。 など

3 環境・景観配慮に向けた検討の今後の進め方等（案）について

(1) 検討委員会の運営等について

平成 24 年度も継続して検討委員会を設置する。

- ・水門等の構造物デザインの現場への適切な反映
- ・現地確認、指導
- ・その他諸課題への対応 など

(2) 「岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観配慮に向けた基本的な考え方（案）」について 検討委員会の検討結果を踏まえて公表する。（時期は未定）

<参考>平成 23 年度委員会スケジュール

	開催時期	場所	検討内容等
第 1 回委員会 【終了】	平成 23 年 11 月 17 日（木） 13：30～15：30	岩手県公会堂 2階 26号室	進め方、スケジュール、現況把握、論点 整理等
現地調査会 【終了】	平成 23 年 12 月 16 日（金） 8：30～18：00	岩手県沿岸（モデル 地区等）	現況把握等
第 2 回委員会 【終了】	平成 23 年 12 月 19 日（月） 13：30～16：00	ホテルルイズ 3階 万葉の間	現地調査結果、今後の調査方針、配慮事 項の整理等
第 3 回委員会 【終了】	平成 24 年 1 月 27 日（金） 13：30～16：00	ホテルルイズ 3階 万葉の間	配慮事項の整理等
第 4 回委員会 【本日】	平成 24 年 2 月 23 日（木） 9：30～12：00	エスポワールいわて 2階 大ホール	とりまとめ、県版の環境・景観への配慮 事項（案）の整理等
委員会（予備日）	平成 24 年 3 月 9 日（金） 13：30～16：00	エスポワールいわて 2階 大ホール	予備日※

※予備日：新たな論点があり検討委員会を招集して検討が必要な場合などに開催